

～犬の多頭飼育苦情【XXXXXXXXXX】～

令和5年9月25日、SNSで動愛センターに団体登録している栃木しっぽの会が多頭飼育崩壊した旨の記事をみたと一般の県民から電話があった。内容は、多くの犬が部屋に閉じ込められ、皮膚の状態が悪く、痩せ細り、衛生状態も悪いとのこと。令和5年9月25日、28日、10月11日、11月6日、12月18日、令和6年1月22日、2月9日、19日及び3月15日に現地を訪問したが、状況確認のため再度訪問した。

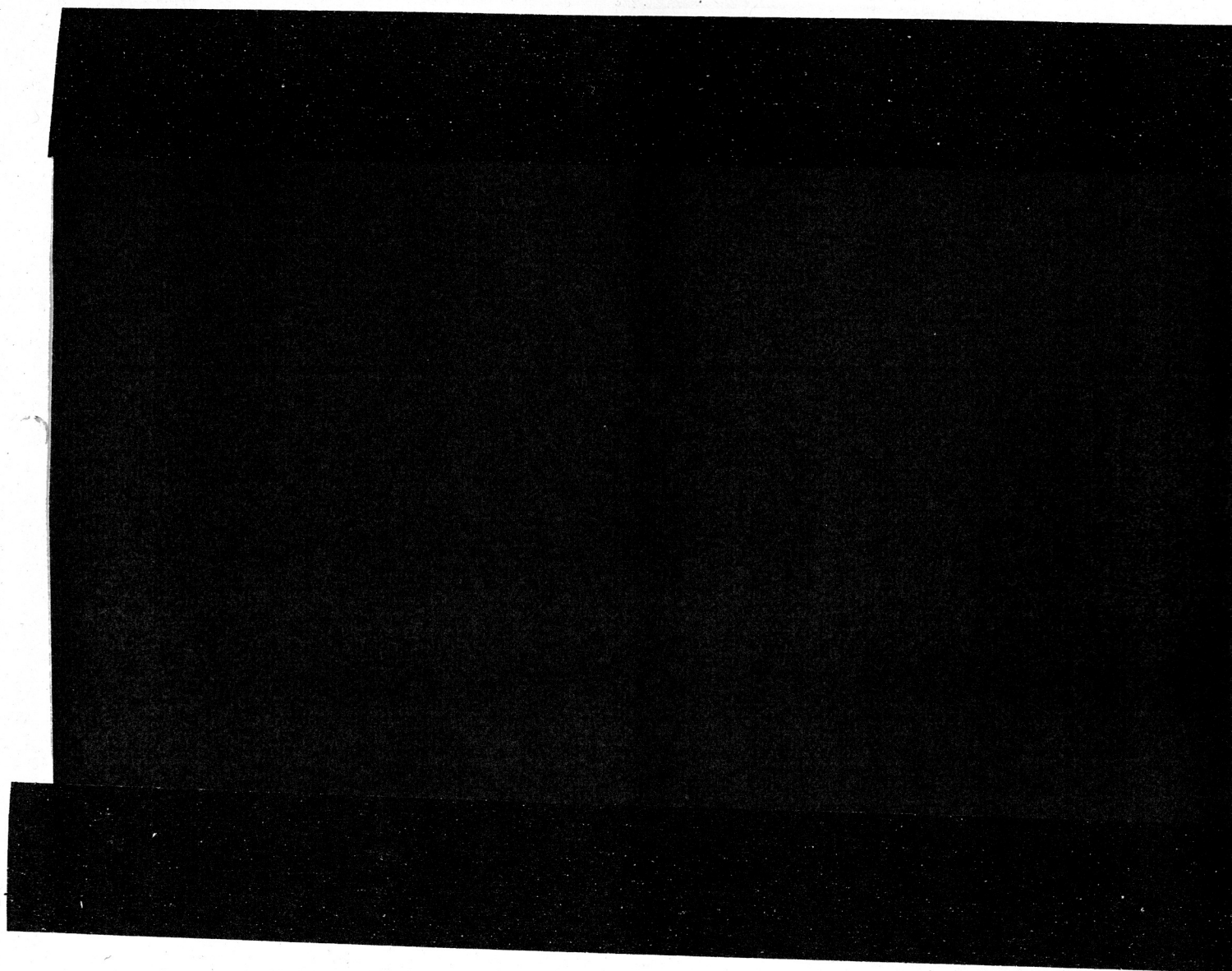
(1) 飼い主: () 過去団体登録あり ()
(2) 飼養頭数: 犬 () 頭 (シェルトー ()) () 頭、() の自宅 () 頭、自宅 () () 頭、山羊 () 頭 ※頭数は() の申告を含む

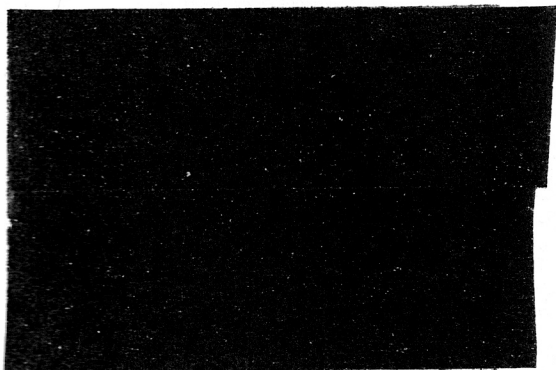
(2) 栃木県動物愛護指導センター 愛護管理課：野口係長、片岡主査

- ・ 前回の監視の際、シェルターには黒頭の犬がいたが、その後黒頭が死亡（怪我のため動物病院で入院中だった黒頭、黒頭の黒頭）し、現在は黒頭いるとのこと。
- ・ 譲渡については SNS 等を利用して広く募集をかけると黒頭が攻撃され兼ねないので、現在いる犬は今後も継続飼育する可能性が高い。しかし、預かりさん等へ譲渡する可能性はあるとのこと。

- ・ 畜犬登録および狂犬病予防ワクチン、適正飼養について指導した。

糞の堆積はなく、前回より多少改善されたが、飼養頭数が多いことに変わらない状況であった。今後も継続して訪問し、飼育環境等について指導していくこととする。

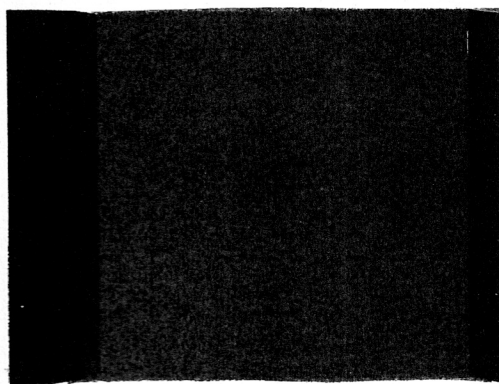
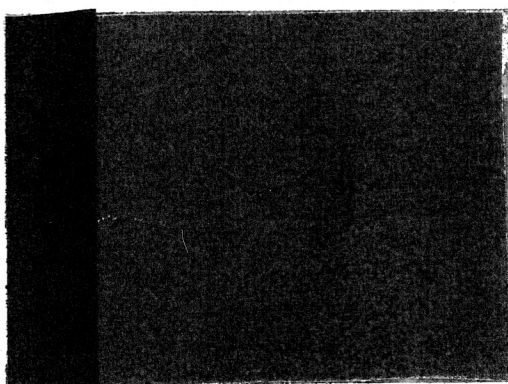
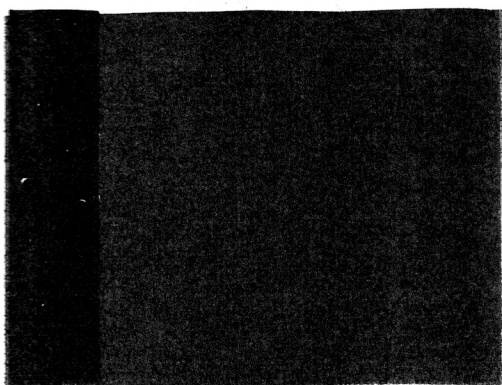
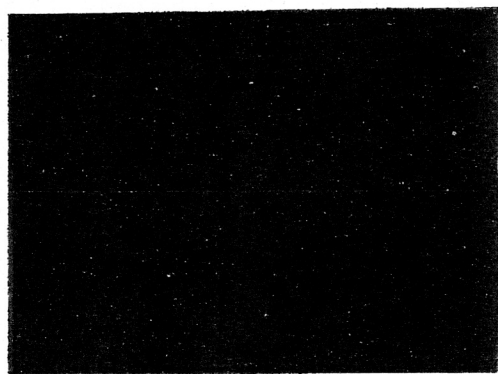
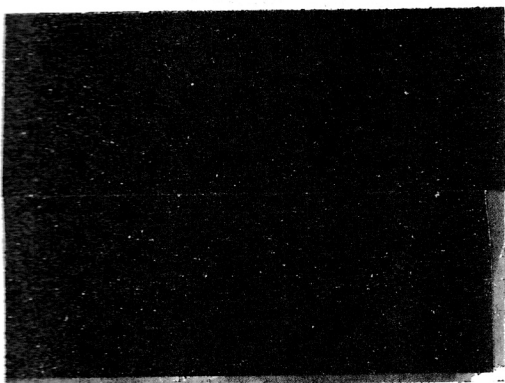




青いトタンの建物



青いトタンの建物



犬

